

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
松本吉郎
(公印省略)

令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

都道府県医師会におかれましては、平素より母体保護法の適切な運用にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

本会では、令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会を別添開催要綱・プログラムにありますとおり12月7日(土)に日本医師会館大講堂で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

つきましては、本講習会における参加申込手続き等は、下記により行いますのでよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、会員の先生方へは日医ニュース(10月20日号)を通じてご案内する予定であることを申し添えます。

記

1. 申込方法

- ・日本医師会ホームページより、受講者が個別に必要な事項を入力し申込を行います。
日本医師会ホームページ「医師のみなさまへ」→「研修・ワークショップ・講習会を見る」→「令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会」へアクセス
URL：https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001946.html
※都道府県医師会で受講対象者を取りまとめた「受講者名簿」の提出は必要ありません。
- ・申込締切後に全申込者一覧を都道府県医師会宛てお知らせいたします。

2. 申込締切

- ・令和6年11月20日(水)
※定員(300名)になり次第締切ます。

3. 旅費

- ・代表者1名分の旅費を講習会終了後、全都道府県医師会宛に送金します。

4. 研修証明（単位取得）について

本講習会の受付は受講者個人の情報を QR コードを用いて読み取り出退管理を行います。遅刻や途中退席された場合は、単位が取得できないことがあります。

◆日本医師会生涯教育制度について

「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録します。

参加者には、CCO（その他）2単位が付与されます。

◆日本産科婦人科学会単位について

産婦人科専門医の単位は、産婦人科領域講習2単位が付与されます。

講習会終了後に日本医師会より一括して申請手続きを行います。

※申込の際に産科婦人科学会会員番号の入力が必要です。

◆日本産婦人科医会研修単位について

日本産婦人科医会の研修1単位が付与されます。

講習会終了後に日本医師会より一括して申請手続きを行います。

※申込の際に産婦人科医会会員番号の入力が必要です。

5. 都道府県医師会事務局の参加申込みについて

- ・都道府県医師会事務局の参加申込みにつきましても、受講者と同様に以下URLよりお手続きのほどよろしくお願い申し上げます。

URL : https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001946.html

令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会開催要綱

1. 目的：母体保護法指定医師に必要な家族計画ならびに同法に関連する最新知識について指導者講習を行い、母体保護法の運営の適正を期する。
2. 主催：日本医師会・こども家庭庁
3. 開催日：令和6年12月7日（土）
4. 内容：プログラムのとおり
5. 会場：日本医師会館大講堂
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
6. 定員：300名
7. 参加者：（1）各都道府県医師会代表者（1名）
（2）医師会会員で母体保護法に関係する医師
（3）日本産婦人科医会会員
8. 申込方法：日本医師会ホームページより受講者が必要事項を入力して申込む
9. 申込締切：令和6年11月20日（水）※ただし、定員（300名）になり次第締切
10. その他：（1）参加費は無料です。
（2）都道府県医師会代表者1名分の旅費を日本医師会で負担します。
11. 研修証明（単位の取得）については以下のとおりです。
（1）日本医師会生涯教育制度単位：「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録されます。
（2）日本産科婦人科学会の単位
（3）日本産婦人科医会の単位
12. 問合せ先：健康医療第二課
TEL 03-3942-8181（直通）

令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会プログラム

日時：令和6年12月7日(土) 13:00～16:00

場所：日本医師会館 大講堂（集合開催）

1. 開会（13:00） 司会：濱口 欣也(日本医師会常任理事)

2. 挨拶（13:00～13:10）

日本医師会

こども家庭庁

日本産婦人科医会

3. シンポジウム（13:10～15:10）

座長：濱口 欣也（日本医師会常任理事）

テーマ「新たな局面を迎えて母体保護法指定医師として考えること」

(1) 日医指定基準モデル改定と今後の方向性（仮題）（20分）

落合 和彦（東京都医師会理事）

(2) 緊急避妊薬について（仮題）

①中井 清人（厚労省医薬局医薬品審査管理課長）（20分）

②安達 知子（日本産婦人科医会 副会長）（20分）

(3) 経口人工妊娠中絶薬について（仮題）

①林 昌子（日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科准教授）（20分）

②濱口 欣也（日本医師会常任理事）（20分）

(4) 指定発言－行政の立場から（母子保健行政の最近の動き）（仮題）（20分）

木庭 愛（こども家庭庁成育局母子保健課長）

（休憩）10分

4. 討 議（15:20～16:00）

5. 閉 会（16:00）